

『釣り』を学ぶ！（平成28年7月26日）

宇佐にある遊漁船“湊丸”さんにお世話になり、インターンシップ研修会を行って参りました。遊漁船の仕事とはどのようなものか、その心構え、実践、操船法、探魚法、遊漁者の楽しませ方、船長の苦労話等々、深い内容をレクチャーしていただきました。

もちろん、実践では、最近土佐湾から全国に発信された「スローピッチジギング」について、ジグの操作法、アタリの取り方、取り込みの方法等を手取り足取り教えていただき、生徒もキッチリ身につけることができました。

当日は暗いうちに宇佐港を出港し、針路を南西に向け、窪川沖100mほどの岩礁帯から釣りが始まりました。そこに着くまでの間も、船長からは「佐賀の沖にはシイラ漬けが入っているから常に気を張って操船しなければならない」といった具体的な指導もありました。この岩礁帯は、この春に、マハタが数十本揚がったという大変期待の持てる場所です。

第1投目から参加者には次々とアタリがあり、船上は活気づきます。そして、アタリが遠のくと移動を繰り返し、お客を飽きさせず、また、スパンカを使用し、船を風や潮に立て、客のラインが絡まるのを防ぐといった操船の肝も教えていただきました。

釣れたのは、マダイ、カサゴ、ホウボウと赤い魚が中心で、最後にクーラーから取り出すと、船上が真っ赤に染まりました。

船長、本当に今日1日楽しませていただきました。また来年以降も生徒達に遊漁船の楽しさと厳しさを教えてあげてください。

